



### 表紙のことは

1月4日、香りの丘「茶ピア」で袋井市茶手揉保存会の皆さんが新年初手もみ会を行いました。ホイ口台と呼ばれる台の上に茶葉を広げ、台の下から熱を加えながら、徐々に水分を蒸発させていきます。一葉一葉に気を配りながら、約4時間掛けて丁寧にもみ上げていました。

### 市民の動き

人口 / 85,023人 (前月比 - 23人)

(外国人登録者3,720人含む)

男性 / 42,910人 (前月比 - 34人)

女性 / 42,113人 (前月比 + 11人)

世帯数 / 29,330世帯(前月比 - 41世帯)

平成19年1月1日現在

110番・119番

12月1日～31日

交通事故件数 82件 (-7件)

交通事故死者数 1人(±0人)

交通事故負傷者数 110人(-3人)

火災件数 2件(-8件)

救急出動件数 227件(+1件)

カッコ内は前年同月比較

広報

ふくろい



袋井市の市章

2007年(平成19年)2月1日発行 第45号

編集・発行 / 袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係 千437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1 TEL 0538-43-2111(代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>

【Eメール】

[hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp](mailto:hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp)

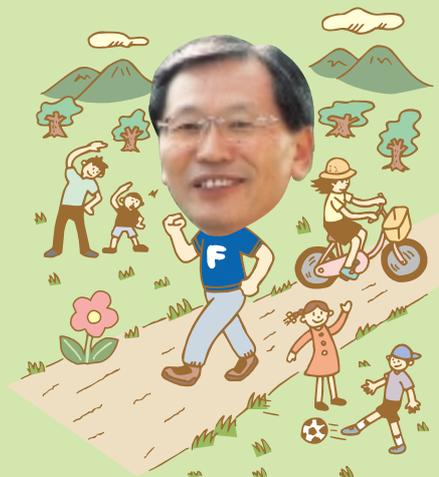


古紙配合率100%再生紙を使用しています

## 原田市長の

さんぽみち

# 散歩道



ここ数年、節分の日には法多山で豆まきの役を務めさせていただいている。豆をまいていると、大勢の人の厄が払われ、福が来るような気がして、自分も幸せな気持ちになれる。帰宅後は、家でも行い、年の数ほど食べられないが、拾った豆を10数粒は食べることにしている。

子どもころの節分の夜は、友達と連れ立って、知り合いの家へ豆を拾い歩くのが楽しみだった。電灯を消した座敷の中に、豆のほかにキヤラメルや落花生、時には夏みかんもまかれてゴロゴロ転がってきた。近所中、「鬼は外、福は内」の声と拾い歩く子どもたちの話し声が聞こえて、にぎやかだった。

## 「鬼は外、福は内」

アメリカでは、悪魔払いの行事として、10月末にハロウィーンがある。仮装した子どもが戸口に立って、キャンディーやチョコレイトをもらい歩く。私が生活していたころ、この中に毒を入れる事件があつて、子どもがもらってきた菓子のすべてを調べた。

翌日には、小学校でX線を使って危険物が入っているか否かをチェックしてくれた。仮装した日本人留学生が「フリーズ」と言われた意味が分からず、銃で撃たれる悲しい事件もその後起こった。

時が移り、時代が変わると、こうした行事も次第に行われなくなる。確かに、豆まきはじゅうたんの上ではやりにくいし、まして他人の家に上がり込んで、物を拾うことは今では一般的ではない。

しかし、我が家にとつて「鬼は何か、福とは…」と家族で話し合ったり、体に良い大豆を食べたりするには良い機会である。

節分、節句、七夕、月見など昔から伝わってきた行事は、日本の四季それぞれにふさわしい生活の仕方や心の持ち方を教えてくれる。祖先の知恵を現代の生活に合うように、うまく取り入れていくことが真に「かしこい」生き方であると思う。



古紙配合率100%再生紙を使用しています